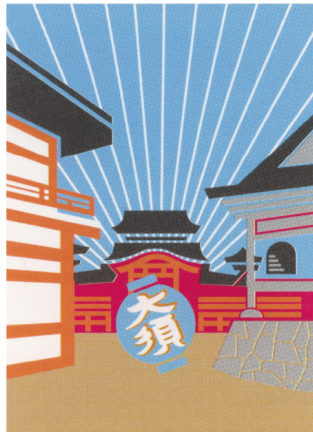




<本年度クラブ会長方針>

WEEKLY REPORT

楽しいロータリーライフ No.1502
FUN ROTARY LIFE

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 柴岡正将 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 加藤巳千彦 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org



R.I. 会長
マーク・ダニエル・マローニー

休 会

令和2年3月5日(木)

5月14日(木)

定款規定により休会

*新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、定款規定により休会とする。

休会特別版

会長挨拶

柴岡 正将

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルスの蔓延で2月20日の例会を境に、それ以後休会となっており、概ね2か月が経ちました。その間、会員の皆様から例会を開催したかどうかという意見を直接いただくこともありましたが、他クラブと共に歩む形で今日まで参りましたこと、お許しください。また、すようをお願い申し上げます。報道を見ると医療崩壊もまねきそうな状況下です。各々ご自愛の上、しばらく慎重にお過ごしください。また、私事をお話し申し上げます。私、2月までの例会でSARS、MARSの際に大変影響を被りましたことをお話し上げましたが、今回はそれ以上で、全くない状況です。緊急事態宣言で私のビジネスである旅行業も休業指定業種となり、待機するばかりで、毎日どこまで我慢ができるかと思案の日々です。

第2760地区では西名古屋分区分区Mも中止、そして2万人の会員登録がされたホノルルの世界大会も中止となりました。私どもが力を入れてまいりました青少年交換事業の今年度受入交換学生ウィッシー君は、フィンランドの状況悪化に際して3月6日に早々と帰国しました。当初は、3月から4月にかけてご両親が来日する予定があり、スケジュール調整や諸々の手続き等、大上委員長の下で進めていただきましたが、来日どころではなくなりました。また、竹島慶之佑君のブラジル派遣を含め、次年度の青少年交換事業も全て中止となりました。これまでご助力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。ただ、次々年度に参加できる状況の方は再度挑戦することができそうです。竹島君にも状況が許せばトライしてもらいたいと思います。

さて、暗いニュースばかりですが、嬉しいこともありました。先週大須の街中で岡部パストガバナールが奥様と散歩されている時、お会いする機会がありました。立ち話でしたが、私どものことをお話しくださいました。大変嬉しく、ロータリーの友情を厚く感じる思いでした。ロータリー全体については、これからどうなるかなと心配されておりましたが、顔色もよく、元気なお姿でした。ことを報告させていただきます。

今年度も、あと2か月となりました。ただ、5月の例会は全て休会となります。6月以後は例会を実施して今年度を閉める形としたしく願うばかりです。どうか、皆様もお元気で過ごしてください。6月4日の例会でロータリー活動を再開できます事を祈念し、挨拶とさせていただきます。

「グローバル補助金事業」「新規歯科診療設備贈呈式」
国際奉仕委員長 堀江 英弥

R1第3502地区(台湾)桃園西RCを始め6RCが実施クラブ、名古屋大須RCが援助クラブとして進めておりますグローバル補助金事業「歯周病予防のため、新規歯科診療設備寄付及び衛生保健教育」(疾病予防と治療)の歯科診療設備贈呈式が3月3日、台湾桃園市西北部の沿海行政区(観音区)で執り行われました。

医療資源不足により歯科診療を受けることが難しいこの地区では、主に廃棄された装置の寄付を受けて診療・治療にあたっており、故障も多く特に歯周病治療には支障をきたしていました。

今回の事業では、支援先となった2つの施設(心身障がい者福祉施設「愛心家園」、上大小学校)へ



新規歯科診療装置を寄贈し、研修を行い、その研修へ現地歯科関連の学生達にアシスタントとして参加してもらうことで、次世代への口腔衛生教育を実施しました。

贈呈式には、当クラブから柴岡正将会長・加藤巳千彦幹事を含む5名の会員と2名の家族、計7名で出席し、前述の2つ施設への現地確認も行いました。

桃園西RCを始め6RCと協力し計画したこの事業は、各ロータ

リアンが専門分野の職業人として奉仕活動を行うことで、想定より非常にスムーズに実現することができ、職業奉仕の上になりたった国際奉仕活動を強く実感することができました。御協力をいただいた会員の皆様へこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

**「受入青少年交換学生 帰国
青少年奉仕委員長 大上 晃延**

受入青少年交換学生のウィッソ (Henriksson, Ville August) 君が、3月6日(金) 新型コロナウィルス感染症拡大の影響を考慮



(写真)中部国際空港セントレアにて

し、急遽帰国することとなりました。例会での最後の挨拶もままならず慌ただしい帰国となりましたが、多くの経験や思い出ができたことと思います。

滞在中にはホストファミリーをはじめ、多くの会員の皆様にご支援を頂きました。また大変急なご連絡だったにも関わらず急遽帰国お見送りに集まって頂いた皆様、青少年奉仕委員会より改めてお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

**「米山奨学生奨学金授与
次年度幹事 鬼頭 茂成**

当クラブが今年4月から2年間お引き受ける米山奨学生馬健淋(マ・ケンリン)君と、4月10日名古屋東急ホテルで初めて顔を合わせ、第1回の奨学金をお渡しいたしました。クラブからは次年度会長大原敏正さん、米山奨学生力ウンセラー岩崎征一さんに参加いただき、現在名古屋工業大修士課程へ通う馬君の勉学や日常の話に耳を傾けました。

奨学期間2年の米山奨学生は05・07年のグレース(シラフルン アンチャイ・グンティダー)以来となります。時節柄例会再開のめどが立たず、月に一回の例会出席ができませんが、勉強熱心で真面目そんな学生ですので、折を見



て交流を深めていただきたいと思います。是非よろしくお願いいたします。

また5月7日にも同様の機会をもち、第2回(5月分)の奨学金をお渡しいたしましたのでご報告申し上げます。

**「米山奨学生挨拶
米山奨学生 馬 健淋**

私は中国遼寧省遼陽市出身の留学生、馬健淋と申します。今は名古屋工業大学大学院1年に在学しており、工学専攻情報プログラムに所属しています。

趣味はスポーツ、特にバスケットボールとバトミントンは長い間やってきました。そしてアニメや

映画鑑賞とゲームをやることです。いいストーリーをエンジョイすることが大好きです。

私の長所は、明るく、いつも前向きなところです。短所は、服に関するファッションがわからないところです。服は自分が着て気持ちいいなら大丈夫と思うので、新しい服を買うことは少なく靴やズボンも同様です。

私の父は警察官を務めており、母は教師です。二人の給料が少なくても、私の留学生活に大きく支援してきました。従って、私も二人の誇りになれるように、頑張りたいです。

将来は日本に就職し、情報知識だけでなく、中国語や英語も役に



立てるような仕事に就きたいです。

この度、米山ロータリー奨学生に選ばせていただき、誠に光栄であります。以降、自分の目標に近づくために一所懸命頑張りたいです。

(原稿を原文のまま掲載)

2020学年度米山奨学生

馬 健淋(マ・ケンリン)
生年月日: 1997年11月1日(22才)

国籍: 中華人民共和国
出生地: 遼寧省

在籍:

名古屋工業大学

工学部情報工学科大学院1年

奨学金支給予定期間:

2020年4月1日~

2022年3月31日

**「名古屋大須案内RCC
支援金(下期)贈呈**

春日井和良

当クラブが提唱し2019年3月14日国際ロータリーより認証を受けて結成された「名古屋大須案内RCC」へ、活動支援金(下期)を贈呈いたしました。

コロナ禍の現状を踏まえ、当初予定しておりました例会での支援金贈呈式は残念ながら取り止めましたが、大須商店街連誼会長堀田聖司さん、大須案内人吉田和正さんへお渡しすることができました。



大須商店街連盟会長 堀田聖司さん(左)
名古屋大須案内人RCC 吉田和正さん(右)

のでご報告いたします。
大須地域が観光の街として未永く発展するよう、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

派遣青少年交換生 報告

「マンズリーレポート 2月」

青少年交換生 大上 夏生

皆様お元気にされていますか。
日本ではコロナが流行っているの聞き、とても心配です。お身体には、お氣をつけください。私は毎日元気に過ごしています。

●学校

学校の行事である、WANTANTがあります。生徒がドレス、タキシードを着て音楽に合わせて男女ペアになり踊ります。私の通っている学校は、女の子が多いため私のダンスペアは複数の女の子のダンスパートナーになっていたためとても忙しそうに見えました。



そついった理由で、本番ギリギリまでダンスパートナーに会う事が出来ず少し不安でしたが、何とか全てのダンスを本番までに覚える事が出来ました。ダンスパートナーとも、WANTANTをきっかけに友達になれ、近くで踊っていた子とも仲良くなったのでとてもいい友達作りの場になりました。
ホストマザーがお洋服を作るお仕事をしているため、私の体に合うように仕立てて下さったり、とてもかわいいドレスを貸して下さいました。髪型もホストマザーが



手伝ってくれました。日本では絶対に体験できないです、ドレスも気に入って、友達も増え、本当に楽しかったです。時々、動画や写真を見て思い出して幸せな気持ちになっています。

一生忘れない、素敵な思い出が出来ました。

2月14日のバレンタインデーには学校の友達数人でアイススケートをしました。フィンランド語ではバレンタインデーのことを「stävänpäivä」といい、意味は「いい友達の日」です。この日といえば、女性が男性へチョコレートを渡し、思いを伝えるのが一般的だと勘違いしていたので、違いを知って驚きました。なので、私は特に仲良くしてくれているお友達にチョコレートと感謝を渡しました。

●ロータリー

今月は初めに、南アフリカから一人新しい留学生がやって来ました。ロータリークラブでの集まりで私も会い、仲良くなる事が出来

ました。

オーストラリアからも新しい留学生が来ました。その子には、地区の集まりで会いました。地区の集まりでは、アイススケートを予定でしたが、残念な事に雨が降ってしまい中止になり、室内で遊べる施設に変更になりました。

集まった留学生は9人程で、いつもよりかなり少なかったのですが、皆に欠かす事が出来て嬉しかったです。留学生の集まりがあるといつも、英語力の無さを感じてへこんでいましたが、この日はかなり会話に参加でき、理解もできたので、少しだけ自分の成長を感じることができて嬉しかったです。普段フィンランド語での生活ですが、英語力も一緒に伸びるよう勉強していきたいと思っています。

●ホストファミリー

2月21日にホストチェンジの予定でしたが、日本人留学生のホストファミリーに21〜27日、1週間のラップランド旅行に招待していただいたため、旅行から帰って来た2月28日に新しいホストファミリーの家にきました。

セカンドホストファミリーのお家では、自習部屋が無かったりと少し不満は有りましたが、大きな問題なく過ごせました。セカンドホストファミリーには、エストニアに連れて行っていただいたり、

ヘルシンキにも二度連れて行っていただき、沢山の思い出が出来ました。そして、私には弟も妹も居ないため、フィンランドでかわいい弟、妹が出来て嬉しかったです。サードホストファミリーでは、私が一番年下になりました。ホストブラザー、ホストシスター三人ともロータリーで留学していたため、色々理解してくれてとても頼りになります。

●ヘルシンキ観光

ロータリー主催のラップランドツアーで会った日本人留学生と日帰りヘルシンキ観光をしました。朝バスで出発し、夜バスで帰って来ました。観光中に、悩み事、不安な事を話し合いとてもスッキリしましたし、他の留学生を見て、もっとフィンランド語の勉強を頑張ることも思え、とてもいい時間を過ごせたと思います。



たまたまこの日、去年日本に来ていたアルトもヘルシンキに居たので、一緒にご飯を食べました。

●Mias (ミヤンランド)

同じ地区の日本人留學生のホストファミリーに招待していただき、約1週間ラップランドに行ってきました。車で約14時間かけ、Mias (スウェーデン寄り) に行き、コテージに泊まりました。スキーを三日間連続でしたり、凍った川にドリルを使い穴を開け、魚釣りをしたり、お腹ぐらいまで積もった雪の上を歩いたり、暇な時間が全くない充実した1週間でした。



ラップランドでしか見られない鳥も見ることが出来ました。オーロラは残念ながら天気が悪く、見ることが出来ませんでした。帰国までに見れる事を願っています。

●フィンランドの看護学校体験

セカンドホストシスターの通っている、看護専門学校に一日通わしていただきました。他の生徒と同じ時間割で、ランチも同じ時間に食べました。一時間目では二人一ペアになり、人形(患者さん)の体を綺麗にするという実習でした。生徒が足りなかったため、私はこの作業に参加できませんでした。だが他の生徒が行っている所の観察、先生からのアドバイスなどを聞いて過しました。

一時間目、三時間目では、足のギブス作りをしました。この授業では、ギブスを生徒が、他の生徒の脚を使い一から作り、その作った物を取り外す練習を何度も繰り返していました。

私は看護大学のオープンキャンパスで、何度かギブスを作った事があったのですが、今回の授業で作ったギブスは日本で作った物よりかなり本格的でしたし、日本の経験があったので、日本とフィンランドでの違いにも気づく事もでき、楽しかったです。本格的な物を一から自分で作り、沢山の器具を使い、取り外したりと、素人



の私には少し難しかったのですが先生や生徒の皆さんが優しく詳しく教えてくださったおかげで、素晴らしい一日になりました。

私がフィンランドに来て一番期待していた、フィンランドの福祉について携わる事が出来て本当に嬉しいです。ホストシスター、ロータリー、ホストシスターの学校に心から感謝しています。

●その他

今月は本当に充実した月でした。ホストチェンジをする度に、帰国に近づいている事を実感し心を改める事が出来ます。

今月末に、帰国日が決定しました。帰国日の7月15日まで、後4カ月程しかないので思い切り楽しみたいと思います。

派遣青少年交換生 報告

「マンズリーレポート 3月」

青少年交換生 大上 夏生

皆様いかがお過ごしでしょうか。3月に入っているのにも関わらず、-11度の日がありました。まだまだ

寒いので体調には気をつけたいです。

●学校

3月の11日から、コロナの影響で休校になりました。休校になってから約2ヶ月間、学校に行けず、学校の友達にも会えませんでした。3月中旬からヨーロッパにもコロナがかなり流行りだし、同じ学校の留学生数人はそれが原因で帰国してしまいました。今同じ学校にいる留学生は、私と日本人の二人になってしまいました。

ドイツ、イタリアからの留学生が帰国するので、同じ学校の留学生で集まりお別れのあいさつをしました。イタリアの子は、飛行機の関係で、その日には空港に向かわないといけなかったため、その場には居られませんでした。コロナが流行っていたため、お店や建物の中には入れず、雨も降っていたため長く話せませんでした。最後に、お話できて嬉しかったです。

数日後、カナダから来ていた留学生も帰ってしまいました。彼には、お別れを直接言えなかった事は少し心残りですが、同じ学校に4人も留学生がいたので沢山お話できましたし、相談も出来たので本当に出会えて良かったです。

4月からまた学校が始まる予定になっていますが、コロナがまだ流行っているの少し心配です。

●ホストファミリー

休校になってから、家に一日中居る日が多くなりました。もともと、そんなに会話をしたり、一緒にご飯を作ったりしないお家なため休校になってから更に一人で、自分の部屋にいる事が多いです。

「コロナが怖いので、なかなか外に出られないため家にこもりがちですがホストファミリーと森へ散歩に行くこともあるため運動不足には、なりませんでした。」

●ロータリー

ロシアツアー、ヨーロッパツアー、ロータリーの地区大会が全て無くなってしまいました。今のところ、全てのイベントがキャンセルになっていますが、状況によって変わっていく事を願っています。

沢山の留学生がコロナの影響によって帰国になってしまったのが本心に残りなのですが、早くコロナが収まって、留学生に会いたいです。

●その他

フィンランドもついに、国境閉鎖になりました。休校も延期になるかも知れないので、とても心配です。

公共イメージ向上委員会

内藤明・杉浦令淑・飯田昭夫

*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。